

平成23年度「モニターツアーの造成によるニューツーリズムの顧客満足度調査事業」

冬のワインツーリズム 雪見ワイン 2012

しんしんと降りつもる雪が
北海道の良質なワインを育みます



開催日 2012.2.19日

「冬のワインツーリズム～雪見ワイン 2012～」開催のお知らせ

■ツアー企画:「北海道ワインツーリズム」推進協議会

■旅行企画・実施:株式会社シービーツアーズ

札幌市中央区大通東1丁目 中央バス札幌ターミナル 2F TEL(011)221-1122 <http://www.cb-tours.com/>

ワインツーリズムを通じて広く北海道の活性化を目指す「北海道ワインツーリズム」推進協議会（会長・千石涼太郎）は、日帰りバスツアー「冬のワインツーリズム 雪見ワイン 2012」を開催いたします。

本ツアーは、観光庁が行う「平成23年度モニターツアーの造成によるニューツーリズムの顧客満足度調査事業」として採択されたもので、国内観光活性化に資するツアーを試験的に造成し、参加者等へのアンケート等から、再来訪の意向や消費額等の経済効果を調査するものです。

ツアーには、外国人向け旅行企業や翻訳士なども参加する予定です。これらの調査結果をもとに、シーズンオフになりがちな冬期間の観光の潜在需要掘り起こすとともに、アジア圏を中心とした外国人観光客の集客や、多様な観光資源の連携など、新しい観光の創出を目指します。

参考サイト ・観光庁 http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics05_000049.html
・ニューツーリズムとは <http://tabihatsu.jp/special/new-tourism/what.html>
・「北海道ワインツーリズム」推進協議会 <http://hokkaido-winetourism.org/>

■ツアー概要

世界のワイン産地で、北海道ほど雪がたくさんつもる地域はありません。

雪がブドウの木を包み、きびしい寒さから守ってくれるため、良質なワインが生まれます。

また、それを生み出しているのが、生産者の方の経験と努力です。

本ツアーでは、今年とくに雪の多い岩見沢市の〈宝水ワイナリー〉と、日本一広大なブドウ畑をもつ浦臼町の〈鶴沼ワイナリー〉を訪ね、生産者の方やソムリエのお話を聞きながら、美しい雪景色を鑑賞しながら、北海道ならではのワインを楽しみます。

ランチは、岩見沢市の「メープルロッジ」で地元の特産野菜やお米を使った特別メニュー＆ワイン（赤白）を提供。また、雪深いブドウ畑をスノーシューをはいて散策したり、雪中宝探し、ホットワイン飲み比べなど、楽しいアトラクションも準備しています。岩見沢市で恒例となっている「ドカ雪まつり」など、地域の冬のイベントにも参加の予定です。

■「冬のワインツーリズム～雪見ワイン 2012～」

- ・開催日：2012年 2月19日（日）（日帰り）
- ・ツアー料金：道内参加 6,000円（昼食代含む）、
首都圏参加 15,000円（昼食代、往復航空券／ホテル1宿泊代含む）
- ・人員：最大40名（※添乗員1名、ソムリエ1名、通訳士（中国語）1名同行）
- ・実施：株式会社シービーツアーズ

■行程

9:00 札幌・中央バスターミナル出発



岩見沢市「宝水ワイナリー」（60分）

雪のブドウ畑見学、醸造士による解説、試飲&お買い物



昼食 「メープルロッジ」（90分）

地元野菜やお米などを使った「スペシャル雪見ランチ」+ワイン（赤・白）



岩見沢駅東市民広場公園「ドカ雪まつり」（40分）



浦臼町 「鶴沼ワイナリー」（90分）

ブドウ畑スノーシューミニツアー、ソムリエによるワインセミナー、
雪中アトラクション（宝探し等）、試飲&お買い物
夕景の雪見ワイン・フィナーレ など



18:45 ころ 札幌・中央バスターミナル到着

（※行程内容は予定です。天候や交通等の状況により変更となる場合があります）

（※首都圏参加者は、前日に札幌に入り、ホテルニューオータニインに1泊）

【取材連絡先・本ツアーに関するお問い合わせ】

株式会社インテリジェント・リンク

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目5 緑苑第2ビル307

TEL 011-271-2080 FAX 011-271-2055

担当 石田

Eメール info@hokkaido-winetourism.org

【ツアー参加のお申し込み・お問い合わせ】

株式会社シービーツアーズ

〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3 中央バス札幌バスターミナル 2F

TEL 011-221-0912 FAX 011-221-0117

<http://www.cb-tours.com/>

担当 鈴木

何卒よろしくお願ひいたします。